

地域おこし協力隊の菅原です。令和8年4月で協力隊3年目となり、早いもので協力隊の任期も今年度で最後の年となりました。今回は2年目の活動の振り返りをメインに取り上げます。

3年目の活動について触れるスペースがここしかなくなってしまいました。簡潔に言うと「新鶴地域を会場に、地域のみなさんの特技が活きたり、地域の方の魅力を知らえてもらえるイベントの仕組み」を使った、地域の方が主役のイベントの開催に向けて動き出しています。

今年度も地域の方とたくさん関わらせていただきたいと思います！引き続きよろしく願いいたします。

新鶴のワインブドウ畑を活かしたイベント

新鶴のワインブドウ畑写生会

新鶴の美しいワインブドウ畑を巡りながら、自分が見つけたお気に入りの場所で水彩画を描くというイベントです。第1回目は令和7年8月23日にグレースヒュッテ橋本さんの農園、第2回目は令和7年9月6日新鶴ワイナリーの農園でイベントを開催させていただきました。定員は1回につき10名で合計20名でしたが、町内外から計17名の方が参加してくださいました。去年の夏は猛暑となりましたが、熱中症対策を万全にして開催することができました。2日間とも天候に恵まれ、ブドウ畑を吹き抜ける風が心地よかったです。写生会は参加者から好評で、良い体験になった、楽しかったと笑顔を見せてくれる方が多くいました。今回のイベントが新鶴やこの町の良さを知るきっかけになっていたらうれしいです。



▲ワインブドウ畑で絵を描く参加者



▲写生会第1回目集合写真

にいつるアートフェス

令和7年10月25日に新鶴温泉んだにて開催しました。ロビーでは写生会で講師を務めていただいたふくしまのとある風景工房さんの水彩ワークショップと、新鶴ワイナリーのワインブドウジュースの無料提供をおこないました。宴会場では写生会の17名分の作品展示&表彰式、新鶴中学校生徒9名の作品、会津本郷焼協力隊の作品展示をおこないました。

当日は特に温泉にお越しのお客様が立ち寄ってくださることが多く、温泉と一緒に新鶴の魅力を感じてもらえたイベントになったのではないかと感じています。

写生会とアートフェスは協力隊1年目の時から考えていたイベントで、今回、たくさんの方に支えられながら開催することができました。イベントを開催することで得た学びを糧に、ラストイヤーを駆け抜けたと思います。引き続きよろしく願いいたします！



▲アートフェス会場



▲水彩ワークショップ

新鶴と繋がる「にいつるこねくと」

にいつるこねくとは、新鶴地域を繋ぐ、新鶴地域と誰かを繋ぐフリーペーパーとして、令和7年2月から2~3カ月に1回の頻度で発行しています。新鶴地域で活動されている方や、地域のコト・モノなどを取り上げています。3月にはにいつるこねくと vol.6 を発行しました。こちらは町役場をはじめとした町内の施設や近隣市町村の道の駅等に置かせていただいています。webでも vol.1 から読むことができます。

詳しくは下記の二次元コードから、町のHPや私の協力隊 Instagram をチェックしてください！

今月の協力隊



すがわらはづき
菅原 羽津紀

Instagramで発信中です！



にいつるこねくと
web



菅原 Instagram